



Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2021-2022年度 鯖江ロータリークラブ

2021-22年度 国際ロータリーテーマ

2021-22年度 第2650地区スローガン



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

「活力と輝き」

— ロータリーの基本を大切に —



鯖江ロータリークラブ会長方針

「元気に～いま、私にできることを～」

会長 帰山 明朗

第3008回
4/22(金)

4月第4例会

点鐘:12:40

テーマ「越前町」1年の振り返りと今後について

越前町長

卓話 青柳 良彦 様

第3009回
5/6(金)

5月第1例会

点鐘:12:40

テーマ「変態が改革する多様性社会」

会員卓話 桑原 重之 会員

第3010回
5/13(金)

5月第2例会

点鐘:12:40

テーマ「日野川環境の現状について」

(株)キミコン 代表取締役

卓話 木水淳文様、井上哲夫様

4/22(金)

注:4月29日(金)は休会です。

4つのテスト

出席率 76.5%

第3008回

鯖江商工会議所 4階大ホール

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
ロ タ リ ー ソ ン グ
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

ロータリーソング



それでこそ
ロータリー

会長の時間



帰山 明朗 会長

今日は「ウクライナでの戦争により深刻化する人道的危機への国際ロータリー、および2650地区の対応状況について」お知らせします。

まず、国際ロータリーのロータリー財団の動きです。

ウクライナでの戦争により深刻化する人道的危機への対応として、ロータリー財団は現在、ロータリー地区が実施している救援活動を支える資金を世界中の人が寄付することのできる正式な窓口として、災害救援基金を指定しました。これに伴い、ロータリー財団は次のことを承認しました:現在から2022

年6月30日まで、ウクライナと国境を接する指定ロータリー地区とウクライナ国内のロータリー地区は、災害救援基金から各地区5万ドルまでの補助金を申請できます。

迅速な手続きが行われるこれらの補助金は、水、食料、シェルター、医療品、衣服といった救援物資を含め、この危機による難民や被災者の支援に利用できます。6月30日までは、ウクライナ国内、または隣国以外でも、影響を受けたロータリー地区も、災害救援基金から25,000ドルの補助金を申請することができます。

こうした災害救援基金を通じた支援に加え、財団では、国連難民高等弁務官事務所(米国)と協議し、ウクライナや近隣諸国で行き場のない人びとのニーズに対応するための準備を進めています。また、東ヨーロッパのロータリー会員と連絡を取り、一時的な住居やほかの必要物資の提供方法についても検討しています。すでに200万人以上がウクライナから避難しており、緊急支援が早急に必要となっています。国連は、避難する人の数が500万人に上る可能性があると推測しています。ヨーロッパや世界のロータリークラブが救援活動に乗り出しており、中には避難者を支援するために現地で活動しているクラブもあります。

ロータリー財団では、ウクライナと近隣諸国での状況を引き続き注視していきます。

続いて、2650地区での対応についてです。

3月末日に2650地区では、ウクライナでの人道的危機への対応として、ロータリー災害救援基金へ25,000ドルを寄贈したとの報告を受けました。この対応により地区として各クラブ様へ新たに寄付を募る予定はないとのことでした。

鯖江ロータリークラブの対応については、先日の理事会で協議しましたが、会員個人または単位クラブでの寄付方法について確認を行っているところですし、また、長期化するであろうこの問題について、いつ、どのような支援すると良いのか、状況を注視し、理事会に諮りながら、対応してまいりたいと考えていますので、会員の皆様におかれましては、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。以上です。

ロータリー情報の時間



岩尾 顕治

ロータリー情報委員長

ロータリーの友1月号の冒頭記事「CSR/SDGsの時代に考える職業奉仕」をご紹介します。

石門心学の石田梅岩が唱えた、公益を常に意識して進める商業とはロータリーの職業奉仕と同じ。これが商家の家訓に影響を与え日本中に広まりました。

週刊現代掲載の、瀬祭旭酒造会長の「給料を上げないと日本は滅ぶ」をご紹介します。

安くて良いもの至上主義を脱却し、利益の出ない分野は捨てて高付加価値商品で世界で高く売る戦略です。そのためには、現場の社員の給料をアップし、優秀な人材を確保し、士気を高めることが必須です。今のインフレはむしろチャンスです。要は、どこにも負けない高品質な商品を世界市場に打って出れば、材料費と人件費のコスト上昇を価格に転嫁しやすいという事です。

委員会報告



清水康弘 社会奉仕委員長

今回、社会奉仕事業として「児童養護施設 吉江学園」に対し「除湿乾燥機1台・置時計1台・掛時計1台」を寄贈することとなりました。来週お届けの予定です。



岡本圭子 親睦委員長

来週30日の三床山登山とランチの件ですが、留学生のチ君も含めて12名で参ります。

集合時間を8:30商工会議所駐車場に変更しましたので、ご

注意ください。車3台に乗り合せて石生谷トンネル駐車場より登山します。登山できるシューズ・服装で、飲み物・おやつ等はご自身でご用意ください。ランチはシティホテルで、ランチ代1,000円は当日集めます。雨天の予報の場合、決行可否かは前日に連絡いたします。

越前町長

卓話 青柳 良彦 様

テーマ 「越前町」1年の振り返りと今後について



孝久 治宏 プログラム委員長

本日の卓話者は、越前町長の青柳良彦様です。テーマは「越前町」1年の振り返りと今後についてをお願いします。

1959年1月、丹生郡朝日町西田中生まれ63歳。

2003年9月旧朝日町議会議員と、2005年越前町議会議員に初当選。

2021年越前町長に当選するまで、13年余り議員活動し、正副議長も経験されております。

併せて、海上自衛隊勤務、20年間に渡る消防団活動でも活躍され、他にも自前のジムでバーベルを上げたり、クレー射撃等で、心と体をストレッチされています。

家業で、米穀燃料店とコインランドリーを営み、私の考えですが、財務諸表を理解し、経営とバランス感覚に優れている方だと思います。



卓話者:越前町長 青柳 良彦 様

テーマ:「越前町」1年の振り返りと今後について

令和3年3月に町長就任からおよそ1年が経ちました。この1年の振り返りと、今後の課題や今年の予算についてお話いたします。

1. この1年を振り返って

①新型コロナウイルス感染症対策(集団ワクチン接種)

新型コロナウイルスワクチン接種は第1回目から非常に順調に進行しました。順調だった要因としては、

- ・人や作業の流れ・接触具合などを、現場において救急隊員等と綿密に打ち合わせを数回にわたり行うなど、接種担当課における万全の準備があった。また、
- ・織田病院の医師も非常に協力的だったこと(織田病院の隣が接種会場)などの事もあり、接種率も1回目、2回目とも県全体を上回り、現在、3回目接種についてもスムーズに進行中であります。

②局地的大雨災害に対する対応(令和3年7月29日)

令和3年7月29日、朝日地区を中心とし、短時間で記録的な雨量(日雨量25.4ミリ 最大時間雨量84.0ミリ(7:50~8:50))の大雨による災害は、大きな被害を残しました。

被害総括

- ・床上浸水15件 床下浸水41件 農作業小屋倒壊1棟
- ・農地山林240か所 被害総額 約3億5,000万円
- ・局地激甚災害指定により町負担 約1億5,000万円

教訓として

- ◆局地的豪雨は、状況の変化が想像以上に速い。状況は、分単位で変化(悪化)していく。
- ◆臨機応変の対応が求められ、非常に厳しい状況に追いつめられる。
- ◆地域防災計画では各部門各課の役割が明記してあるが、各自が理解して

おくことが大事である。それにより、指揮命令系統がスッキリし、混乱も抑えられる。

- ◆弱者の避難準備、誘導など計画通りには行かない。
- ◆言い古されているが、早めの行動が第一。
- ◆行政としても避難指示発出にはためらわない。
- ◆大雨警報が出た時点で避難の覚悟。
- ◆大雨情報が出た段階では、場所によっては、避難ができなくなる。

こうした反省点を、今後の災害対策に生かしていきたいと思っています。

2. 町の課題

- ・最も大きな課題は「人口減少」です。この30年余りで町の人口は約6,000人減少し、近年は鯖江市、越前市、福井市への転居が多い。
- ・日本全国で人口減少が進んでいる中で、いかに越前町に住み続けていただくかを考えることが重要。「人口減少」は、様々な課題の要因となります。少子高齢化、空き家空き地の増加、地域産業の担い手不足などです。そのため
- ・子育てや教育の支援を核とした施策を展開し、若い世代が生活拠点としての魅力を感じるまちづくり。
- ・長年住み続ける方にも「越前町に住んでよかった」と思ってもらえるまちづくり。

「人にやさしく 地域にやさしい まちづくり」を基本姿勢として掲げました。

3. 越前町の令和4年度当初予算の概要

町民が、ふるさと越前町に誇りと愛着を持ち、誰もが住み続けたいと思う「人にやさしく 地域にやさしい まちづくり」の実現に向け、魅力あるまちづくりを堅実に推進させる予算「未来越前町へ希望を紡ぐ予算」を策定しました。

基本方針は2点

- ①真に必要な町民ニーズに対応した施策を展開すること
- ②将来にわたり持続可能な財政運営を実現すること

令和4年度の予算規模は、一般会計と9つの特別会計、2つの事業会計を合わせた全会計で188億7,105万5千円。これは前年度当初と比べて9,892万円の減です。(令和3年度は、選挙の関係で当初が骨格予算だったため、6月に行った補正後の予算と比べると、10億4,761万円、率にして5.3%の減) 厳しい財政状況ですが、将来のまちのために必要と考える施策を、できることからスピード感をもって行っていきます。

4. 最後に(今後の課題)

ワクチン接種の促進・アフターコロナを見据えた観光振興といった新型コロナウイルスへの対策、小中学校の再編、旧丹生合同庁舎跡地の利活用など様々な課題があります。今後も、住民の皆様の意見を大切にしながら、活力あるまちづくりのため、課題を解決していきます。

幹事報告



佐野 直美 幹事

皆さま こんにちは、幹事報告です。

来週4月29日の例会は休会です。翌々週5月6日の第一例会は、理事会を行いますので理事の皆さま宜しくお願い致します。以上です。

ここにBOA報告	
帰山 明朗 会員	越前町長青柳様をお迎えて 今日はお忙しい中、本当にありがとうございます。
佐野 直美 会員	〃
齋藤 多久馬 会員	〃
酒井 雅憲 会員	〃
梅田 吉臣 会員	〃
大橋 良史 会員	〃
窪田 健一 会員	〃
小淵 洋治 会員	〃
岩尾 顕治 会員	元同業者の青柳さんをお迎えて



ニコニコ箱発表
小淵 洋治
ニコニコ委員長